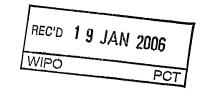
特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)



(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 PEB439	今後の手続きについては、様式P	CT/IPEA/416を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2005/002371	国際出願日 (日. 月. 年) 09. 02. 200	優先日 (日.月.年) 10.02.2004					
国際特許分類(I P C) Int.Cl. F23C99/00(2006.01), F23D11/12(2006.01), F23D14/02(2006.01), F23D21/00(2006.01)							
出願人 (氏名又は名称) 株式会社 荏原製作所							
	1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条(PCT36 条)の規定に従い送付する。						
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	を含めて全部で3	ページからなる。					
3. この報告には次の附属物件も添付され a.	3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a 附属書類は全部で ページである。						
「 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)							
□ 第Ⅰ欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙							
b. 電子媒体は全部で		(電子媒体の種類、数を示す)。					
配列表に関する補充欄に示す。	ように、電子形式による配列表又は						
	ように、電子形式による配列表又は						
配列表に関する補充欄に示す。							
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4.この国際予備審査報告は、次の内容を 「第I欄 国際予備審査報	产含む。						
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4.この国際予備審査報告は、次の内容を 「第I欄 国際予備審査報 「第I欄 優先権	产含む。	配列表に関連するテーブルを含む。					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 第 I 欄 国際予備審査報 第 II 欄 優先権 原 第 II 欄 新規性、進歩性	を含む。 最告の基礎 生又は産業上の利用可能性についての	配列表に関連するテーブルを含む。					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 第 I 欄 国際予備審査報 第 II 欄 優先権 第 II 欄 新規性、進歩性 第 IV欄 発明の単一性の	を含む。 最告の基礎 生又は産業上の利用可能性についての O欠如	配列表に関連するテーブルを含む。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 第 I 欄 国際予備審査報 第 I 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 発明の単一性の 第 V欄 PCT35条(2)	と含む。 最告の基礎 主又は産業上の利用可能性についての シケ如 に規定する新規性、進歩性又は産業	配列表に関連するテーブルを含む。					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 「第I欄 国際予備審査報 「第II欄 優先権 「第II欄 新規性、進歩性 「第IV欄 発明の単一性の 「第V欄 PCT35条(2) におための文前	と含む。 最告の基礎 生又は産業上の利用可能性についての シケ如 に規定する新規性、進歩性又は産業 太及び説明	配列表に関連するテーブルを含む。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 「第I欄 国際予備審査報 「第I欄 優先権 「第II欄 新規性、進歩性 「第IV欄 発明の単一性の 「第V欄 PCT35条(2) けるための文前 「第V欄 ある種の引用文	を含む。 最告の基礎 主又は産業上の利用可能性についての ひ欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 状及び説明 に献	配列表に関連するテーブルを含む。 シ国際予備審査報告の不作成					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 「第I欄 国際予備審査報 「第II欄 優先権 「第II欄 新規性、進歩性 「第IV欄 発明の単一性の 「第V欄 PCT35条(2) におための文前	を含む。 最告の基礎 性又は産業上の利用可能性についての の欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 状及び説明 に献	配列表に関連するテーブルを含む。 シ国際予備審査報告の不作成					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 「第I欄 国際予備審査報告」第II欄 優先権 「第II欄 優先権 「第IV欄 発明の単一性の 「第V欄 PCT35条(2)で けるための文前 「第VI欄 ある種の引用文 「第VI欄 国際出願の不備	を含む。 最告の基礎 性又は産業上の利用可能性についての の欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 状及び説明 に献	配列表に関連するテーブルを含む。 シ国際予備審査報告の不作成					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 第 I 欄 国際予備審査報 第 II 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 発明の単一性の 第 V欄 P C T 35条(2) で けるための文前 第 VI欄 ある種の引用文 第 VI欄 国際出願の不備	を含む。 最告の基礎 性又は産業上の利用可能性についての の欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 状及び説明 に献	配列表に関連するテーブルを含む。 シ国際予備審査報告の不作成					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 「第I欄 国際予備審査報告」第II欄 優先権 「第II欄 優先権 「第IV欄 発明の単一性の 「第V欄 PCT35条(2)で けるための文前 「第VI欄 ある種の引用文 「第VI欄 国際出願の不備	を含む。 最告の基礎 生又は産業上の利用可能性についての シ欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 大及び説明 に献 情 一る意見	配列表に関連するテーブルを含む。 シ国際予備審査報告の不作成					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 「第I欄 国際予備審査報 「第I欄 優先権 「第II欄 優先権 「第II欄 新規性、進歩性 「第IV欄 発明の単一性の 「第V欄 PCT35条(2)に けるための文前 「第VI欄 ある種の引用文 第VI欄 国際出願の不備 第VII欄 国際出願に対す	を含む。 最告の基礎 性又は産業上の利用可能性についての の欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 状及び説明 で献 前 一る意見 国際予備審査:	配列表に関連するテーブルを含む。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 「第1欄 国際予備審査報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告	を含む。 最告の基礎 性又は産業上の利用可能性についての の欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 大及び説明 に献 情 一る意見 国際予備審査:	配列表に関連するテーブルを含む。 D国際予備審査報告の不作成 上の利用可能性についての見解、それを裏付 報告を作成した日 4.01.2006					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 第1欄 国際予備審査報 第1個 優先権 第1V欄 発明の単一性の 第1V欄 発明の単一性の 第V欄 PCT35条(2)() けるための文前 第VI欄 ある種の引用文 第VI欄 国際出願の不備 第VI欄 国際出願に対す 国際予備審査の請求書を受理した日 06. 12. 2005 名称及びあて先	を含む。 最告の基礎 性又は産業上の利用可能性についての の欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 状及び説明 に献 情 一る意見 国際予備審査: の 特許庁審査官	配列表に関連するテーブルを含む。 D国際予備審査報告の不作成 上の利用可能性についての見解、それを裏付 報告を作成した日					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 「第1欄 国際予備審査報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告報告	を含む。 最告の基礎 性又は産業上の利用可能性についての の欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 状及び説明 に献 情 一る意見 国際予備審査: の 特許庁審査官	配列表に関連するテーブルを含む。 D国際予備審査報告の不作成 上の利用可能性についての見解、それを裏付 報告を作成した日 4.01.2006 (権限のある職員) 3 L 3114					
配列表に関する補充欄に示す。 (実施細則第802号参照) 4. この国際予備審査報告は、次の内容を 第1欄 国際予備審査報 第1個 優先権 第1V欄 発明の単一性の 第1V欄 発明の単一性の 第V欄 PCT35条(2)は けるための文前 第VI欄 ある種の引用文 第VI欄 国際出願の不備 第VI欄 国際出願に対す	を含む。 最告の基礎 主又は産業上の利用可能性についての シ欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業 大及び説明 で献 前 一る意見 国際予備審査: の 特許庁審査官	配列表に関連するテーブルを含む。 D国際予備審査報告の不作成 上の利用可能性についての見解、それを裏付 報告を作成した日 4.01.2006 (権限のある職員) 3 L 3114					

第I欄	報告の基礎					
1 崇舞	に関しての予備密本報告け以下のものを基礎とした					
	1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。					
	出願時の言語による国際出願 出願時の言語から次の目的のための言語である 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文					
Id	国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))					
	国際公開(PCT規則12.4(a))					
	国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))					
2. この た男	2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)					
豆	出願時の国際出願書類					
	明細書					
	第 ページ、出願時に提出されたもの					
	第ページ*、付けで国際予備審査機関が受理したもの第ページ*、付けで国際予備審査機関が受理したもの					
	第 付けで国際予備審査機関が受理したもの					
	請求の範囲					
	第 項、出願時に提出されたもの					
	第項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの第項*、付けで国際予備審査機関が受理したもの					
	第					
C	図面					
lun d						
	第 ページ/図、出願時に提出されたもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの					
	第 付けで国際予備審査機関が受理したもの					
	配列表又は関連するテーブル					
	配列表に関する補充欄を参照すること。					
3.	補正により、下記の書類が削除された。					
	『 明細書 第 ページ					
	明細書 第 請求の範囲 第 図面 第 ページ/図					
	図面 第 ページ/図 配列表(具体的に記載すること)					
	配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)					
4 -	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超					
4. []	えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))					
	明細書 第 ページ					
	明細書 第 ページ 請求の範囲 第 項 図面 第 ページ/図					
	図面					
	配列表(具体的に記載すること)					
	■ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)					
* 4. (* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。					

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条 (PCT35 条(2)) に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明						
1.	. 見解					
	新規性(N)	請求の範囲	1-11	有		
		請求の範囲		無		
	進歩性(IS)	請求の範囲	1-11	有		
				無		
	産業上の利用可能性(IA)	請求の統囲	1-11	有		
	运来工。2小小小小小品店工(1117)			無		
_		-				
2.	2. 文献及び説明(PCT規則 70.7)					
文献1:JP 57-23770 Y2(大阪瓦斯株式会社)1982.05.24 文献2:EP 169431 A1(HITACHI, LTD.)1986.01.29 & US 4898001 A1 & CA 1258379 A						
	& JP 61-22106 A & JP 61-22127 A 文献3:US 6481209 B1(General Erectric Company)2002.11.19					
	燃料供給部から離隔した領域で容器内に供給された燃焼用空気の流れが燃料の航跡と最初に交わり、前記燃料供給部近傍の領域で燃料の航跡と再び交わるように構成された燃焼装置 及び					
	開放端部と閉鎖端部と放端部側から閉鎖端部る速度成分を有するよ	に向かう容 うに供給すん 径方向外方	状容器を有する燃焼装置において、燃焼用空気を器中心軸方向の速度成分及び容器周方向に旋回る一方、閉鎖端部から開放端部に向かう容器中心へ向かう速度成分を有するように燃料を前記	山す		